

理由も説明もナシで確認

強引な 何でもありに抗議する

全ての所員のみなさんに訴えます！

25日の点呼で突然、個人の持ち物である携帯電話の電源を確認するという事態が発生しました。いったい何があったのか？
と思いつつも、やむなく確認に応じたと思います。

やっと、26日になって掲示が出されたものの詳しい内容は書かれていません。私たちがおかしいと思うのは、誰が何をしたのかという事ではありません。管理者であれば、何の説明もなく、個人の懐に強引に手を入れることが出来るという、その、思いあがった感覚です。まさに「命令と服従」そのものです。

さらに退出点呼後には、私物携帯電話の「業務中の取り扱い」を知っているか、と念を押す執拗さです。「念を押したゾ 知らなかったとは言わせないゾ」と言うアリバイでしかありません。

2010年4月にも同じような事がありました。夜中に大勢の管理者が職場内で「何か」を探していました。そして翌朝、出勤してきた乗務員はセキュリティーボックス内が荒らされていることに気が付き、点呼では理由を説明されることもなくディンプルキーの確認をされました。（詳しくは別掲の「N23」と「N25」を参考にしてください。ちなみにこの2つの掲示は、強制撤去されていません。参考までに。）

全ての所員の皆さん！おかしい？なんでだ？と思った時には、直ちに「どうしてですか？」と聞きましょう。

言いましょう 管理者なら何でもできるのか と